

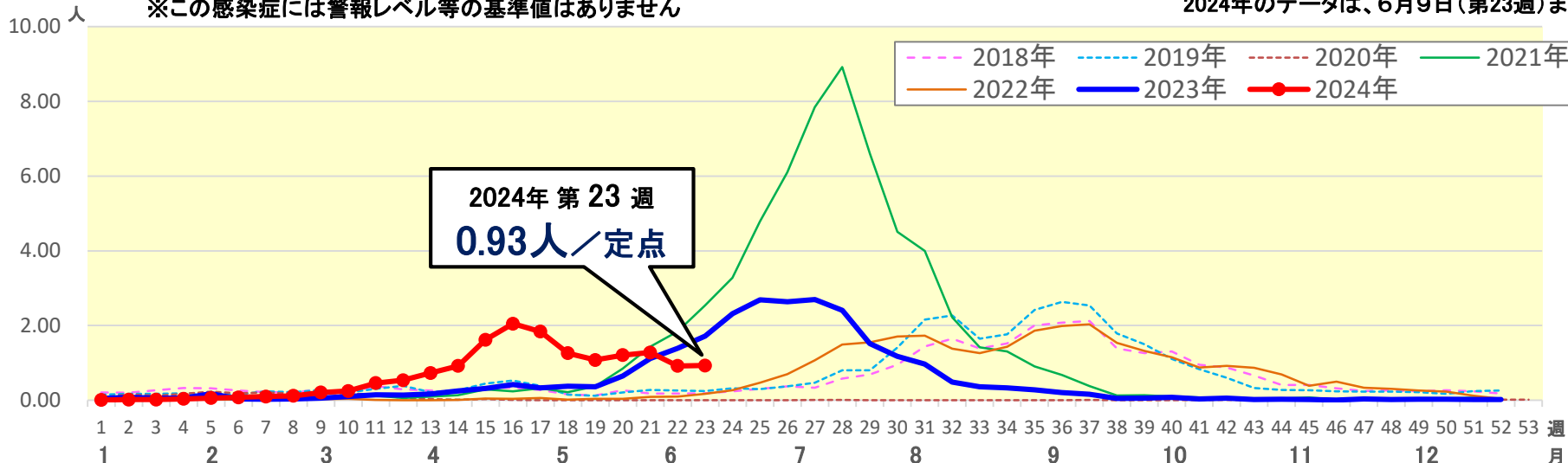
RSウイルス感染症 …五類感染症 - 夏に向けて注意が必要な感染症-

都内における定点(小児科)あたりの週別患者報告数

子供を中心に流行する感染症

※この感染症には警報レベル等の基準値はありません

2024年のデータは、6月9日(第23週)まで



流行の時期

- 過去は冬季に流行がみられていたが、近年は流行の開始時期が早まる傾向
- 本年は3月中旬頃から感染が拡大している

症状等

「RSウイルス」による呼吸器感染症（飛沫感染、接触感染）

- 1歳までに50～70%が感染し、2歳までにはほぼすべての小児が感染
- 症状は軽い風邪様症状から重い肺炎まで様々、まれに急性脳症を発症する
- 低出生体重児や心臓や肺に基礎疾患がある場合は重症化のリスクが高い
 - ➡ 一定の条件を満たした乳幼児向けの重症化予防薬(注射)が保険適応されている

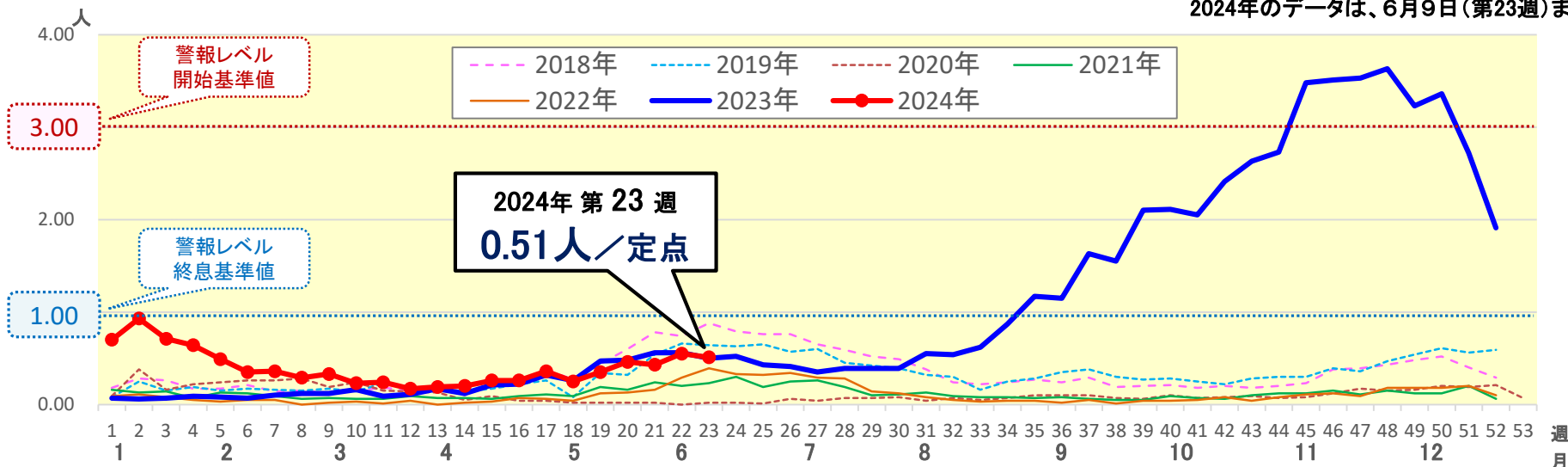
咽頭結膜熱 …五類感染症

- 夏に向けて注意が必要な感染症 -

子供を中心に流行する感染症

都内における定点(小児科)あたりの週別患者報告数

2024年のデータは、6月9日(第23週)まで



流行の時期

- 例年6月頃から徐々に流行し夏にピークを迎える
- 昨年は8月以降に再び増加し、**第40週に警戒レベルまで拡大**
- 今年は第23週時点で定点あたり0.51人(平年並み)

症状等

「アデノウイルス」による咽頭炎、結膜炎(飛沫感染、接触感染)

- 39度前後の発熱、咽頭炎、結膜炎が1~2週間程度続く
- まれに重症化すると肺炎を合併

症状等

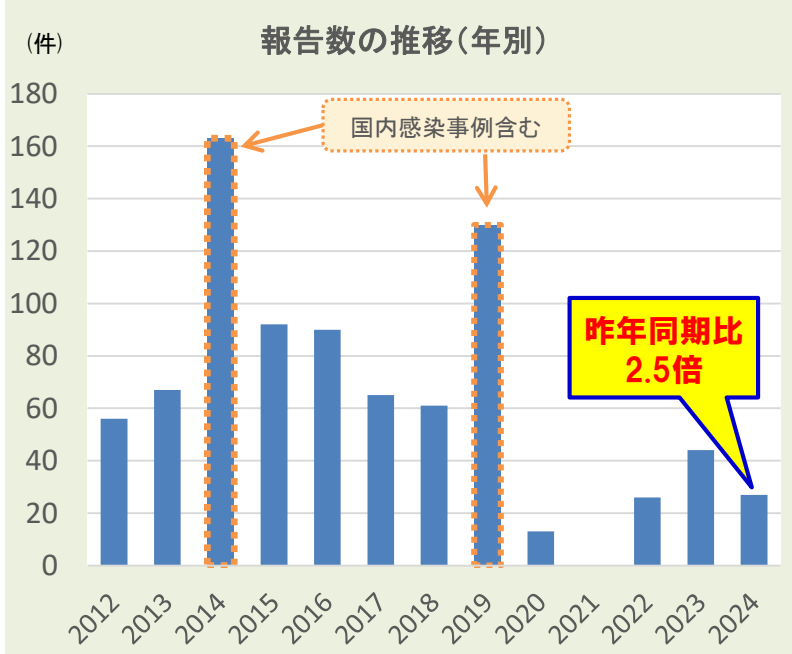
「デングウイルス」による発熱、発疹、頭痛など（蚊媒介感染）

- 発熱、発疹、頭痛、関節痛、筋肉痛など
- 重症化してデング出血熱やデングショック症候群を発症することがある

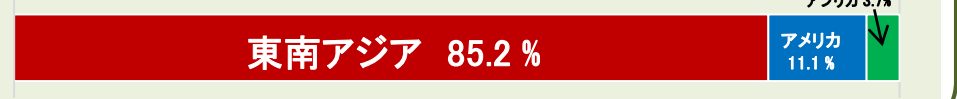
都における発生動向等

2024年のデータは、6月9日（第23週）まで

WHO/Disease Outbreak News/Dengue - Global situation/30 May 2024



輸入感染例の推定感染地（WHO地区別・2024年）



コロナ禍後の人流再開や、デング熱の世界的な流行により
デング熱の輸入例が増加する懸念

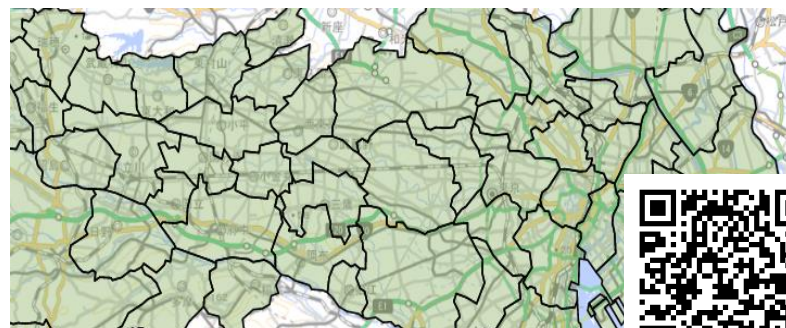
感染症媒介蚊サーベイランス(調査監視)

ウイルス保有蚊の生息調査・監視を実施

【蚊サーベイランスの概要】

	広域サーベイランス	重点サーベイランス
調査施設数	16施設	9施設
主な調査施設	お台場海浜公園 多摩動物公園 他	代々木公園 日比谷公園 他
調査期間等	6月～10月 (全10回)	4月～11月 (全14回)

【ウイルス保有蚊・ハイリスク地点の情報提供】



東京都感染症情報センターホームページ
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/mosquito/mosquitomap/>

医療機関における診療の目安

『フォーカス(病巣)不明な発熱は海外渡航歴を聴取』

※ 蚊媒介感染症は感染箇所を示す局所症状がなく
全身症状(発熱、頭痛、関節痛など)だけのことが多い(専門家意見より)

海外渡航者や外国人患者を診療するための
医療機関向け研修会【7/3(水)～参加費無料】[申込受付中]



新型コロナウイルス・子供を中心に流行する感染症

- 換気、手洗い、場面に応じたマスク着用などの心がけを
- アルコールが効かないウイルスもあるため、石鹸で手洗いを



デング熱（蚊媒介感染症）

- 蚊を発生させない
 - ・ 身の回りの「たまり水」をなくし、蚊の発生を減らす。
- 蚊に刺されない
 - ・ 屋外で活動する場合等はできるだけ肌を露出しない。
 - ・ 適切に虫よけ剤を使用する。

